

オカリナ作り体験



自分だけのオカリナを仕上げ さっそく演奏に挑戦

市内のオカリナ工房「カノーロ」を講師に、小中学生13人がオカリナ作りと演奏を体験しました。7月に成形して、乾燥・焼き上げてもらったオカリナを受け取り、この日に最後の仕上げ。絵の具などで飾りつけ、自分だけのオカリナが完成した子どもたちは、早速「きらきら星」や「こぎつね」など初心者向けの演奏に挑戦していました。

（8月3日 | エルセンター）

人権講座「守山空襲から考える平和」



戦後80年 平和への祈り 語り継ぐ、残された傷跡

守山市遺族会の山川 芳志郎さんを講師に、43人が参加しました。昭和20年7月30日、守山駅を出発する列車を狙った米軍戦闘機4機により機銃掃射を受け、死者11人、負傷者22人を出しました。参加者は、戦争体験者の生々しい話に耳を傾け、犠牲となった戦没者を追悼するとともに、恒久平和への思いを新たにしていました。

（8月2日 | 市民ホール 学習室1）

夏休み親子料理教室



防災を考える教室と 親子でクッキング

市消費生活学習会の主催で開催され、市内の親子が参加しました。第1部は大阪ガスを講師に、災害でガスや電気などライフラインが止まった場合を想定した日頃からの備えなどについて学び、魔法瓶を使ったパスタ料理を実践。第2部は親子で協力しながらハンバーグやサラダを作って、パスタと一緒においしく試食していました。

（8月5日 | 河西公民館）

ライズヴィル都賀山 夏休み親子教室



ホタルをテーマに光の実験やランタン作り 来夏の飛翔に思いをはせて

テーマはホタル。光の研究をする講師のアーノルド博士（びわこ豊稗の郷）の光にまつわる、生物の光をピンクや青にする不思議な実験を見た子どもたちは大喜び。不思議なメガネでホタルの目を体験し、ホタルに見えない優しい光のランタンを作ったり、クイズラリーに挑戦したり。親子で楽しみながら、来夏の飛翔に思いをはせていました。

（8月3日 | ライズヴィル都賀山）

守山市の人口

令和7年7月31日現在
(前月比)

人口	86,033 (+ 59)
男	42,318 (+ 10)
女	43,715 (+ 49)
世帯数	35,842 (+ 76)

ギリまで宿題に追われていた。特に一番厄介な自由研究を最後まで大事に残しておいてくれた。夏休みも残り数日、子どもが自分で調査してまとめるという時間を考え、昨年と同じ近場で生き物調査をすることにした。昔は捕まえた生き物を図鑑で調べていたが、今や携帯のアプリを使えばその場で判別できるので効率はいい。しかし、1日だけの現地調査ではお目当ての魚は見つからなかった。手ぐらで家に帰るわけにもいかず3軒の店に寄ってみたが売っていない。結果は散々で、とりあえずやっただけの自由研究になってしまったが、来年中学生になれば一緒に出かけることもほとんどなくなるだろう子どもと一緒に琵琶湖で生き物調査をしたことは、夏のいい思い出になった。



2学期が始まった。が、今年は夏休みがギリギリ終わるギリギリまで残っていた。